

通信モジュール内蔵 メーカーブランド Windows® PC・タブレット製品 ソフトバンク通信サービス接続手順

2024.04.05版

本書は「通信モジュール内蔵 メーカーブランド Windows®PC・タブレット製品」のモバイルブロードバンド機能にて、ソフトバンク通信サービスをご利用いただくための接続方法をご説明するものです。本書の手順に沿って接続を行って下さい。

※ 本書で説明する接続手順の対象製品は、ソフトバンク通信サービスのご利用についてソフトバンクが推奨し、メーカー各社より製造販売される「通信モジュール内蔵 メーカーブランド Windows® PC・タブレット製品」（以下、「メーカーブランド製品」といいます。）です。対象のメーカーブランド製品は次のサイトでご確認ください。[<http://www.softbank.jp/biz/mobile/lineup/pc/>] 対象外製品の接続方法は別途メーカー各社へご確認ください。※ 本書の接続手順は、Windows® 10 または Windows® 11 それぞれ当社が特定したバージョンを例に説明しています。Windows® のバージョンによっては画面・機能が一部異なる場合があります。※ 本書内で「SoftBank」と説明する箇所は、ネットワークの状況によって「SoftBank(5G)」もしくは「SoftBank(5GSA/***)」または「SoftBank(LTE)」もしくは「SoftBank(UMTS)」等と表示されます。また、接続先の設定内容によって「SoftBank(ai+ 5G/4G LTE)(5G)」または「SoftBank(ai+ 4G LTE)(LTE)」もしくは「SoftBank(ai+ 4G LTE)(UMTS)」等と表示されます。※ メーカーブランド製品にてモバイルブロードバンド機能をご利用いただくには、別途ソフトバンクとの通信契約が必要です。※ ソフトバンク所定のUSIMカードとは、メーカーブランド製品に対応する料金プランを登録した専用のUSIMカードをいいます。※ ソフトバンク所定のeSIMとは、メーカーブランド製品に対応する料金プランを登録した専用のeSIM（商品コード:「IDCAC1」または「TLCAC1」）をいいます（以下、「対応eSIM」といいます。）。対応eSIMをご利用いただくには、プロフィールと呼ばれるデータのダウンロードおよびインストールが必要となります。ダウンロードには携帯電話網とは別の無線LANや有線LAN等によるインターネット接続が必要です。原則として対応eSIMのプロフィールをダウンロードする際に必要なアクティベーションコードはQRコードでのご提供となります。※ 本手順および接続先の設定はソフトバンクのネットワーク圏内で行って下さい。また、設定中に発生した通信により、所定の通信料が掛かる場合があります。※ Windows® を初期化（リカバリー）した場合、Windows® 上に保存された接続先の設定はリセットされます（通信モジュール内に保存された接続先の設定を除きます。）。初期化後に再度接続または設定を行って下さい。※ Windows® 上に保存された接続先の設定は、その際に挿入されたUSIMカードまたはeSIMに紐付いて設定されます。設定の際に挿入されたUSIMカード以外のUSIMカードを挿入または設定の際に適用されたeSIM以外のeSIMを適用をされずと設定は引き継がれません。改めて本手順にて接続または設定を行って下さい。

■本書の構成

Windows® 10

Windows® 10 November 2021 Update (Version 21H2)
Windows® 10 2022 Update (Version 22H2)

[P2](#)

- Windows® 10 接続手順
- Windows® 10 接続先の追加・変更方法
- Windows® 10 eSIM設定手順 (※注)

Windows® 11

Windows® 11 (Version 21H2)
Windows® 11 2022 Update (Version 22H2)

[P11](#)

- Windows® 11 接続手順
- Windows® 11 接続先の追加・変更方法
- Windows® 11 eSIM設定手順 (※注)

エラー時の対処方法・ご注意事項等

[P19](#)

(※注) 対応eSIMをご利用いただくには、eSIMに対応したメーカーブランド製品である必要があります。eSIMに対応したメーカーブランド製品は次のURLで確認ください。

[<http://www.softbank.jp/biz/mobile/lineup/pc/>]

→ 各社製品一覧ページより該当製品の「製品詳細資料をダウンロード」をクリック

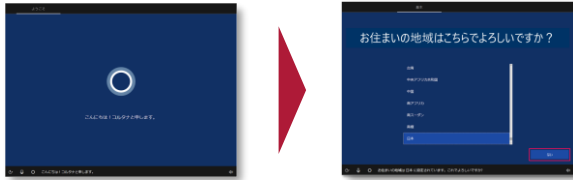
→ スペック欄の「eSIM対応」に「○」と掲載されている場合、当社による動作確認済みのeSIM対応メーカーブランド製品となります。

(該当欄がないまたは「×」の場合は、当社による動作確認未実施またはeSIM非対応のメーカーブランド製品となります。)

A 工場出荷状態から初期設定を行う

A1 本体の電源を投入します。Windows® の初期設定が開始されますので、画面に従って設定を進めます。

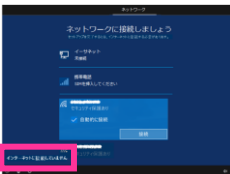
※ ソフトバンク所定のUSIMカード (物理SIM) は挿入せずに初期設定を行って下さい。



自動的に初期設定が開始されます。

初期設定を進めます。

A2 「ネットワークに接続しましょう」画面にて「インターネットに接続していません」をクリックします。



※ 無線LANへ接続する場合は「インターネットに接続していません」をクリックせず、「Wi-Fi」欄に表示されたSSIDを選択の上、接続設定を行って下さい。

※ 次の画面では、左下に表示される「制限された設定で続ける」をクリックして初期設定を続けて下さい。

A3 初期設定を続けます。Windows® 起動後に「完全シャットダウン」で電源をOFFにします。

※ 初期設定の方法は、メーカーブランド製品の取扱説明書等をご確認下さい。

※ 「完全シャットダウン」での電源OFFの方法は、**B1** をご確認ください。

A4 本体にソフトバンク所定のUSIMカード (物理SIM) を挿入して電源を再び投入します。

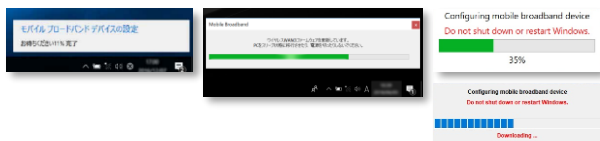
eSIMをご利用の場合は、P6 「Windows® 10 eSIM設定手順」をご覧ください。

- ※ USIMカードの挿入は電源OFFの状態で行って下さい。USIMカードの挿入方法は、メーカーブランド製品の取扱説明書等をご確認下さい。
- ※ 所定のUSIMカードはマルチサイズ対応です。メーカーブランド製品によって使用できるUSIMカードのサイズが異なります。メーカーブランド製品の取扱説明書等をご確認の上、USIMカードの台紙より所定のサイズに取り外してご使用下さい。
- ※ 一度ご使用になったUSIMカードを、別のサイズに取り外しあるいは取り付けし再使用しないで下さい。また、取り外した台紙を変換アダプターとして使用しないで下さい。故障の原因となります。

■ 「Microsoft® Surface」をご利用のお客様

「Microsoft® Surface」では、以下 **A5** の設定は行われません。Windows® 起動後、そのまま右欄 **B** へ進んで下さい。

A5 Windows® 起動後に通信モジュールの設定が自動で行われます。



※ 上図いずれかのダイアログボックスが表示されます。(メーカーブランド製品によって表示が異なります。) 設定は自動で完了します。状態によっては、上図のダイアログボックスが表示されない場合があります。

※ 設定が完了するまで**本体の電源をOFFにしないで下さい。**

※ 通信モジュールの設定は、初回USIMカード挿入時のみ行われます。なお、設定完了以降、他事業者のSIMカードが挿入されるまで設定が変わることはありません。

続けて、ソフトバンク通信サービスの接続を行います。右欄 **B** へ進んで下さい。

B 起動状態から接続を行う

A Windows® 初期設定の後、以下手順で接続して下さい。

B1 タスクトレイ「地球儀マーク」から「SoftBank」をクリックします。



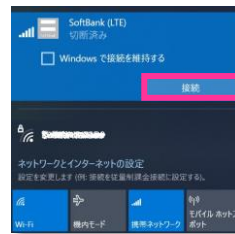
デスクトップ画面のタスクトレイ「地球儀マーク」をクリックします。

※ Windows® の初期設定が完了した後は、以降電源を投入する前に、ソフトバンク所定のUSIMカード (物理SIM) を挿入 (**A4**) し、Windows® 起動後に「電波マーク」をクリックします。

「SoftBank」をクリックします。

※ 上記「SoftBank」の表示が自動的に「接続済み」となる場合がありますが、これは、Windows® 10 May 2019 Update (Version 1903) 以降の仕様によるものです。この場合、既に接続は完了していますので、**B2** の操作は不要です。自動接続設定については、**B1** をご確認ください。

B2 「接続」をクリックします。



「接続」をクリックします。

※ ソフトバンク通信サービスに自動的に接続する場合は、「Windowsで接続を維持する」にチェックを入れて下さい。以降、無線LAN等の接続がない場合に自動的に接続を行います。

(注意) 自動接続設定については、**B1** をご確認ください。

※ 接続先は当社標準のアクセスポイント (plus.4g) となります。別のアクセスポイントへ接続する場合は「接続」をクリックせず、**C** の手順で接続を行って下さい。(「Windowsで接続を維持する」にチェックが入っている場合は外して下さい)

(接続が完了します)

※ 切断する場合は、接続中に表示される「切断」をクリックするかまたは「Windowsでこの接続を維持する」のチェックを外します。

i-1 Windows® 10 「完全シャットダウン」の方法について

Windows® 10 の「完全シャットダウン」は以下の方法で実施して下さい。

1. デスクトップのWindows® マークをクリックします。
2. 「設定 (⚙️)」をクリックします。
3. 「更新とセキュリティ」をクリックし、左欄の「回復」をクリックします。
4. 右欄中段の「今すぐ再起動する」をクリックします。
5. ブルー画面が表示されます。「PCの電源を切る」をクリックします。
6. 画面がOFFとなり、完全に電源が切れた状態となります。

i-2 自動的にモバイルブロードバンドへ接続する「自動接続」について

Windows® 10 Creators Update (Version 1703) より、デフォルト設定として、モバイルブロードバンドへの接続が「自動接続」に変更となりました。「Windowsで接続を維持する (Windowsでこの接続を管理)」にチェックが入った状態であれば、無線LAN等の接続がない場合に自動的に接続を行います。自動接続ではなく、手動で接続を行う場合は、「Windowsで接続を維持する (Windowsでこの接続を管理)」のチェックを外し、手動で接続・切断を行って下さい。(当該チェックを外すと切断されます。)



携帯電話



※ 「Windowsで接続を維持する (Windowsでこの接続を管理)」にチェックを入れた後、自動接続されるのに時間がかかる場合があります。自動的に接続されるまでお待ち下さい。

接続先の追加・変更や編集、またエラー等で接続ができない場合は、次ページまたはP19をご確認下さい。

C 接続先の追加・変更を行う

★ 当社法人向け閉域網サービスをご利用の場合、以下手順で接続先を追加・変更の上、接続を行って下さい。

C1 タスクトレイ「地球儀マーク」から「ネットワークとインターネットの設定」をクリックします。

※ 本設定はソフトバンク通信サービスならびに有線LAN・無線LAN等が切断された状態で行って下さい。

※ Windows® の初期設定が完了した後は、以降電源を投入する前に、ソフトバンク所定のUSIMカードを挿入(A4)し、Windows® 起動後に「電波マーク」をクリックします。

C2 「携帯電話」から「詳細オプション」をクリックします。



C3 「APNを追加します」をクリックします。表示された入力欄へ接続先情報を入力し「保存」をクリックします。

「APNを追加します」をクリックします。

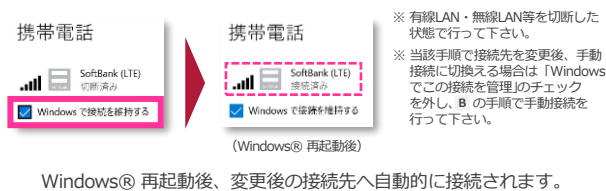
★ 当社法人向け閉域網サービスの接続先情報は、当社の法人担当営業までお問い合わせ下さい。

ご注意
「APNの種類」(必ず「インターネットおよびアタッチ」を選択して下さい。)

※ メーカーブランド製品によっては「インターネット」以外選択できない場合があります。その場合は「インターネット」を選択して下さい。

※ 「IPの種類」は「既定」として下さい。
接続先情報を入力します。
「このプロファイルを適用する」にチェックを入れ「保存」をクリックし、続けて「OK」をクリックします。

C4 C2の画面まで戻り「Windowsでこの接続を管理」にチェックを入れ、Windows® を再起動します。



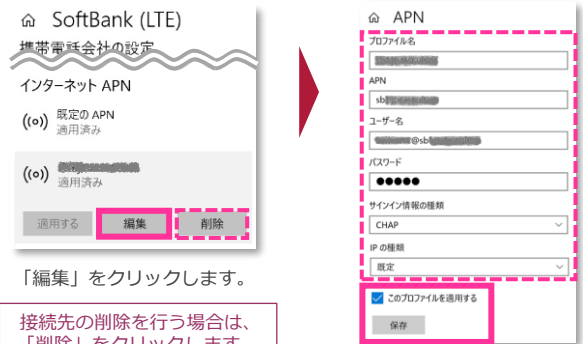
D 接続先の編集を行う

D1 C1～C2の手順を行い、「詳細オプション」をクリックします。

※ 本設定はソフトバンク通信サービスならびに有線LAN・無線LAN等が切断された状態で行って下さい。

※ 「インターネットAPN」に「既定のAPN」と表示されている場合があります。「既定のAPN」プロファイルに設定された接続先情報の確認は、「既定のAPN」への接続中に行ってください。なお、当該プロファイルの編集および削除はできません。「既定のAPN」の詳細は B をご確認ください。

D2 編集する接続先の「編集」をクリックします。表示された各接続先情報を編集し「保存」をクリックします。

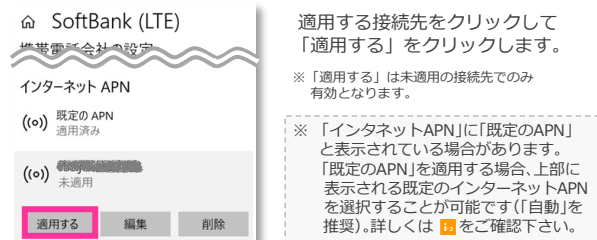


※ 「IPの種類」は「既定」として下さい。
※ 編集後接続先を適用する場合は「このプロファイルを適用する」にチェックを入れて保存します。その後、C2の画面まで戻り、C4の手順で接続を行います。

E 接続先の適用変更を行う

接続先を複数設定している場合、以下の手順で使用する接続先の適用変更が可能です。

E1 D1の手順の後、適用する接続先をクリックして「適用する」をクリックします。



E2 一つ前の画面に戻り「Windowsでこの接続を管理」にチェックを入れ、Windows® を再起動します。



※メーカーブランド製品におけるWindows® 10 May 2019 Update (Version 1903) 以降のワイヤレスWAN (通信モジュール) 対応状況は、メーカー各社にお問い合わせ下さい。

i-3

Windows® 10 May 2019 Update (Version 1903) 以降のモバイルブロードバンド機能について

前バージョンおよびWindows® 10 April 2018 Update (Version 1803) より、モバイルブロードバンド機能の仕様が一部変更となりました。変更内容および変更に伴う機能の制限やご利用上の制限事項は以下の通りです。なお、OSのアップグレード後も必ず最新のWindows Update (OSバージョンアップを除く。)を適用してご利用いただきますようお願い致します。

● モバイルブロードバンドへの自動接続がデフォルト設定となります。

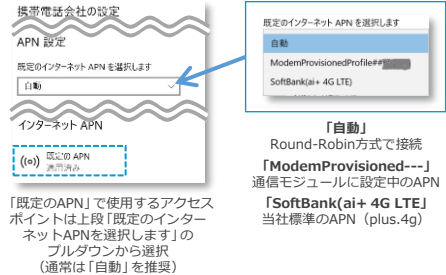
詳細は **E1** をご確認ください。

● インターネットAPNに設定される「既定のAPN」について

接続先の追加を行わず、当社標準のアクセスポイント (plus.4g) のみをご利用の場合、APN設定のインターネットAPNに「既定のAPN」が設定され、「適用済み」となります。(接続先を追加してご利用の場合は、「未適用」となります。)
「既定のAPN」で使用するアクセスポイントは、上段のプルダウンより選択が可能です (一部のメーカーブランド製品および一部のOSバージョンを除きます。)
なお、「自動」以外を選択した場合、接続に失敗する場合があります。
当社標準のアクセスポイント (plus.4g) のみをご利用の場合は「自動」設定のままご利用いただくことを推奨します。

※一部のメーカーブランド製品および一部のOSバージョンではプルダウン表示がされず、「既定のAPN」のアクセスポイントの選択はできません。

※接続先を追加してご利用の場合で、「既定のAPN」を適用して接続先を変更する場合、プルダウンから「SoftBank ai+4G LTE」を選択すると接続に失敗する場合があります。当社標準のアクセスポイントへ接続先を変更される場合は、新たにインターネットAPNへplus.4gを追加設定して下さい。



● 接続先変更の際、「Windowsで接続を維持する (Windowsでこの接続を管理)」にチェックを入れず自動接続を行った場合、接続後に切断される場合があります。

C4 または **E2** にて接続先変更を行う際、「Windowsで接続を維持する (Windowsでこの接続を管理)」にチェックを入れず自動接続を行った場合、一度接続後に自動的に切断状態となる場合があります。その場合は、「Windowsで接続を維持する (Windowsでこの接続を管理)」にチェックを入れるか、再度「接続」をクリックして接続を行って下さい。

● 接続先変更の際、「Windowsで接続を維持する (Windowsでこの接続を管理)」にチェックを入れても接続先が変更されない場合があります。

C4 または **E2** にて接続先変更を行う際、「Windowsで接続を維持する (Windowsでこの接続を管理)」にチェックを入れても接続先が変更されず、元の接続先に接続される場合があります。その場合は、「Windowsで接続を維持する (Windowsでこの接続を管理)」にチェックを入れたままWindows® を再起動して下さい。

なお、「接続済み」とならない場合やエラー等で接続ができない場合は、P19をご確認ください。

● モバイルブロードバンド接続時、タスクトレイ「地球儀マーク」の表示が下図のように変わります。

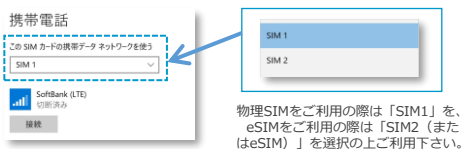


● 「携帯電話」設定画面の「このSIMカードの携帯データ ネットワークを使う」について

C2 の「携帯電話」設定画面上段に表示される「このSIMカードの携帯データ ネットワークを使う」は、eSIM (Embedded Subscriber Identity Module) 対応機種で表示されます。

当該機能はプルダウンにて「SIM1」と「eSIM (またはSIM2)」の選択が可能です。物理SIMでソフトバンク通信サービスをご利用の際は「SIM1」を選択の上ご利用下さい。eSIMをご利用の際は「SIM2 (またはeSIM)」を選択の上ご利用下さい。

※eSIMは対象のメーカーブランド製品でご利用が可能です。設定方法はP6「Windows® 10 eSIM設定手順」をご確認ください。



(以下、余白。次ページへ続く)

※メーカーブランド製品におけるWindows® 10 May 2019 Update (Version 1903) 以降のワイヤレスWAN (通信モジュール) 対応状況は、メーカー各社にお問い合わせ下さい。

i-4

Microsoft「Surface Pro 7+ LTE Advanced」をご利用の際の注意事項

● 「Surface Pro 7+ LTE Advanced」では、以下の事象が発生する場合があります。

- 手動接続設定時 ([Windowsで接続を維持する] がOFFの状態)
当社USIMカード初回挿入時またはUSIM挿し変えの後電源ON時、30秒程度圏外表示となる場合があります。
- 自動接続設定時 ([Windowsで接続を維持する] がONの状態)
当社USIMカード初回挿入時またはUSIM挿し変えの後電源ON時、3Gで接続されますが、しばらくLTEへの接続ができなくなる場合があります。

上記事象が発生した場合、以下の方法で回避が可能です。

● 最新のWindows Updateを適用する

本事象を解消するバージョンアップがWindows Updateの配信にて開始されており、当該バージョンアップを実施することで本事象を回避できます。最新のWindows Updateを適用して下さい。
また、以下Microsoft社のサイトより個別に該当のアップデートファイルをダウンロードしてアップデート適用いただくことも可能です。

Surface Pro 7+ LTE Advanced

[Download Surface Pro 7+ Drivers and Firmware, from Official Microsoft Download Center](#)

※ 「Select language」は「English」を選択いただき、「Download」ボタンをクリックしてください。OSに合わせてファイルを選択してください。

(以下、余白。次ページへ続く)

F eSIMの設定を行う

- ★ 初期設定から設定を開始する場合は、A1～A3の手順で初期設定を完了して下さい。
- ★ eSIMの設定を行うには、無線LANや有線LAN等によるインターネットへの接続が可能な状態である必要があります。

F1 本体の電源を投入し、無線LANまたは有線LAN等でインターネットに接続された状態にします。

F2 タスクトレイ「扇マーク※1」から「ネットワークとインターネットの設定」をクリックします。



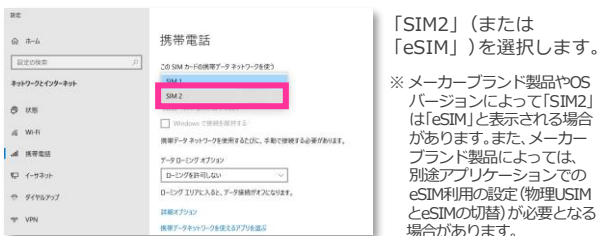
※ 既にF4にて「SIM2(またはeSIM)」が選択されている場合は、次の表示になります。その場合は「eSIMプロファイルの管理」をクリックしてF6へ進んで下さい。



F3 「携帯電話」をクリックします。



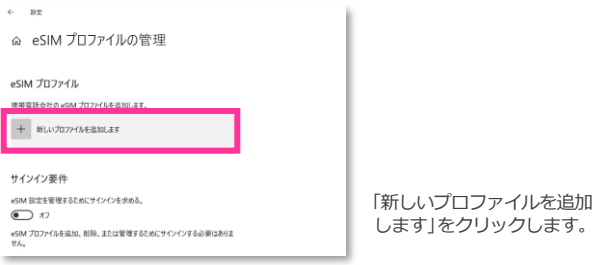
F4 「このSIMカードの携帯データネットワークを使う」で「SIM2」(または「eSIM」)を選択します。



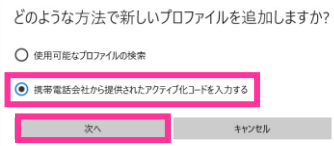
F5 「eSIMプロファイルの管理」をクリックします。



F6 「携帯電話会社のeSIMプロファイルを追加します。」の「新しいプロファイルを追加します」をクリックします。



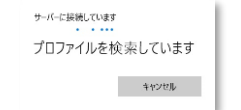
F7 「携帯電話会社から提供されたアクティベーションコードを入力する」を選択し、「次へ」をクリックします。



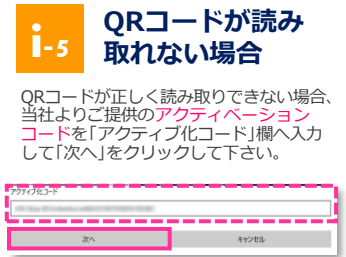
「携帯電話会社から提供されたアクティベーションコードを入力する」を選択し、「次へ」をクリックします。

F8 カメラが起動します。当社よりご提供のQRコードを読み取ります。

※ 対応eSIM用に発行されたQRコードおよびアクティベーションコードをご使用下さい。

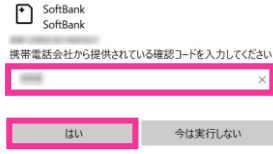


QRコードの読み取りが完了すると自動的に上図の画面になります。



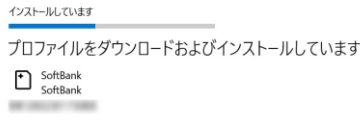
F9 当社よりご提供の確認コードを入力して「はい」をクリックします。

このプロフィールをダウンロードしますか？



確認コード入力欄へ当社よりご提供の**確認コード**を入力して「はい」をクリックします。

F10 eSIMプロフィールのダウンロードが開始されます。



※ ダウンロード中は本体の電源OFFや再起動は行わないで下さい。また、本体をスリープ状態にしないようにして下さい。
※ ダウンロード中はインターネット接続が切断されないようにして下さい。

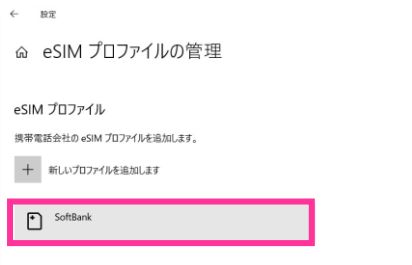
F11 eSIMプロフィールのダウンロードが完了すると下図の表示となります。「閉じる」をクリックします。

新しいプロフィールを準備できました



「閉じる」をクリックします。

F12 「SoftBank」をクリックします。続けて「使用」をクリックします。

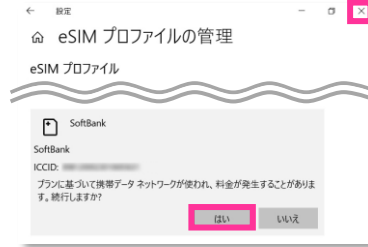


「SoftBank」をクリックします。



「使用」をクリックします。

F13 メッセージが表示されます。確認の上、「はい」をクリックします。右上の「×」をクリックして画面を閉じます。インターネット接続を切断します。



メッセージを確認の上、「はい」をクリックします。右上の「×」をクリックして画面を閉じます。

無線LANまたは有線LAN等で接続していたインターネット接続を切断します。

F14 通信モジュールの設定が自動で行われます。



※ 上図いずれかのダイアログボックスが表示されます。(メーカーブランド製品によって表示が異なります。)設定は自動で完了します。本体の状態や一部メーカーブランド製品(Surface等)によっては、上図のダイアログボックスが表示されない場合や設定が行われない場合があります。

※ 設定が完了するまで**本体の電源をOFFにしないで下さい。**

※ 通信モジュールの設定は、初回eSIM適用時のみ行われます。なお、設定完了以降、eSIMの削除や他事業者のeSIMが適用されるまで設定が変わることはありません。

F15 タスクトレイ「地球儀マーク」をクリックしてアンテナバーが表示されることを確認します。この状態で1分待ち、Windows® を再起動します。



F16 F1 ~ F4 の手順を行い、「詳細オプション」をクリックします。下段の「プロパティ」の「携帯電話番号」に電話番号が表示されているか確認します。



「詳細オプション」をクリックします。



「携帯電話番号」に電話番号が表示されているか確認します。

(次ページへ続く)

(前ページからの続き)

※ 「携帯電話番号」に電話番号が表示されない場合は、電話番号書き込み機能に対応したメーカーブランド製品であるかご確認ください。なお、eSIMに電話番号が書き込まれていない場合であってもデータ通信(ワット通信)への影響はありません。ただし、当社法人向け閉域網サービスの電話番号認証、一部モバイルデバイスマネージメント(MDM)等のソリューションやサービスにてeSIMに書き込まれた電話番号を使用するサービスはご利用いただけませんのでご注意ください。詳細は **14** をご確認ください。

※ 電話番号書き込み機能に対応していることを当社が動作確認したメーカーブランド製品であるにも関わらず、本書の手順 **16** で電話番号が表示されない場合は、以下 **1** ~ **3** を順番にお試し下さい。

- そのまま **1分** 待ち、Windows® の完全シャットダウンを行います。再度メーカーブランド製品本体の電源を投入後、手順 **14** の操作を行い、アンテナバーが表示されることを確認して、再度、そのまま **3分程度** お待ち下さい。その後、Windows® の完全シャットダウンを行い、本体の電源を投入後に電話番号が表示されるか確認します。(電話番号表示がされるまで数回繰り返し実施して下さい。)

※ 「完全シャットダウン」での電源OFFの方法は、**14** をご確認ください。

- メーカーブランド製品本体のスリープ設定および休止設定をOFF(なし)にし、電源を立ち上げたまま当社ネットワークに接続した状態で1日程度お待ちいただき再起動を行って下さい。
- 当社までOTA再送のご依頼をお願いします。処理完了後に手順 **14** より再開します。

G eSIMの使用を停止する

G1 タスクトレイ「地球儀マーク※2」から「ネットワークとインターネットの設定」をクリックします。

デスクトップ画面のタスクトレイ「地球儀マーク※2」をクリックします。

※2 無線LANまたは有線LAN接続時はそれぞれ右図のマークになります。

下段の「ネットワークとインターネットの設定」をクリックします。

F17 右上の「x」をクリックして画面を閉じます。



右上の「x」をクリックして画面を閉じます。

以上でeSIMの設定は終了です。続けて、ソフトバンク通信サービスの接続を行います。

G2 「携帯電話」をクリックします。



「携帯電話」をクリックします。

F18 タスクトレイ「地球儀マーク」から「SoftBank」をクリックします。

デスクトップ画面のタスクトレイ「地球儀マーク」をクリックします。

※ 右上「切断済み」の表示が自動的に「接続済み」となる場合がありますが、これは、Windows® 10の仕様によるものです。この場合、既に接続は完了していますので、**14** の操作は不要です。自動接続設定については、**14** をご確認ください。

「SoftBank」をクリックします。

G3 「eSIMプロフィールの管理」をクリックします。

「eSIMプロフィールの管理」をクリックします。

G4 「SoftBank」をクリックします。続けて「使用の中止」をクリックします。

「SoftBank」をクリックします。

「使用の中止」をクリックするとメッセージが表示されます。確認の上、「はい」をクリックします。

※ 使用を再開する場合は「SoftBank」をクリックして「使用」をクリックします。
※ 他のeSIMを使用する場合は、該当のプロファイルを選択して「使用」をクリックします。

F19 「接続」をクリックします。

「接続」をクリックします。

(接続が完了します)

※ ソフトバンク通信サービスに自動的に接続する場合は、「Windowsで接続を維持する」にチェックを入れて下さい。以降、無線LAN等の接続がない場合に自動的に接続を行います。
(注意) 自動接続設定については、**14** をご確認ください。

※ 接続先は当社標準のアクセスポイント(plus.4g)となります。別のアクセスポイントへ接続する場合は「接続」をクリックせず、**C** の手順で接続を行って下さい。(Windowsで接続を維持する)にチェックが入っている場合は外して下さい。)

※ 切断する場合は、接続中に表示される「切断」をクリックするまたは「Windowsでこの接続を維持する」のチェック外します。

H eSIMを削除する

※ eSIMを削除されると同じQRコード等から再度ダウンロード・適用はできません。再度eSIMを適用するには、eSIMの再発行またはご解約後の新規契約が必要です。eSIMの再発行およびご解約後の新規契約手続きは有償となる場合があります。

H1 無線LANまたは有線LAN等でインターネットに接続された状態にします。

※ eSIM削除の実施前に、無線LAN等でインターネット接続を行って下さい。(ソフトバンク通信サービスへの接続は切断して下さい。)

H2 G1～G3の手順を行い、「eSIMプロファイルの管理」をクリックします。

※ 本設定は個別のeSIMプロファイルの削除方法について説明しています。すべてのeSIMプロファイルを削除(リセット)を行う方法は I をご確認ください。

H3 「SoftBank」をクリックします。続けて「削除」をクリックします。

eSIM プロファイル

携帯電話会社の eSIM プロファイルを追加します。

+ 新しいプロファイルを追加します



「SoftBank」をクリックします。

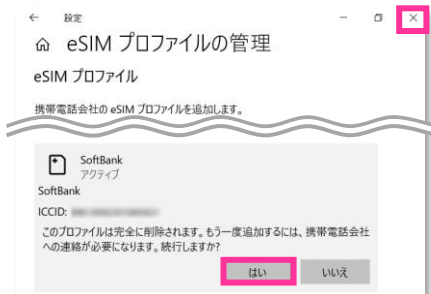
eSIM プロファイル

携帯電話会社の eSIM プロファイルを追加します。

+ 新しいプロファイルを追加します



「削除」をクリックします。

H4 メッセージが表示されます。確認の上、「はい」をクリックします。右上の「×」をクリックして画面を閉じます。

メッセージを確認の上、「はい」をクリックします。右上の「×」をクリックして画面を閉じます。

I eSIMをリセット(削除)する

※ eSIMを削除されると同じQRコード等から再度ダウンロード・適用はできません。再度eSIMを適用するには、eSIMの再発行またはご解約後の新規契約が必要です。eSIMの再発行およびご解約後の新規契約手続きは有償となる場合があります。

I1 無線LANまたは有線LAN等でインターネットに接続された状態にします。

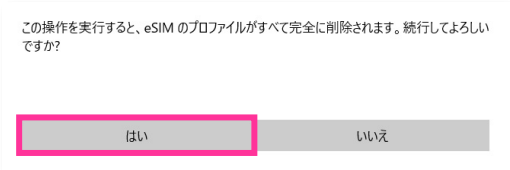
※ eSIMリセットの実施前に、無線LAN等でインターネット接続を行って下さい。(ソフトバンク通信サービスへの接続は切断して下さい。)

I2 G1～G3の手順を行い、「eSIMプロファイルの管理」をクリックします。

※ 本設定はすべてのeSIMプロファイルの削除(リセット)方法について説明しています。個別のeSIMプロファイルを削除する方法は H をご確認ください。

I3 下部の「eSIMのリセット」をクリックします。

「eSIMのリセット」をクリックします。

I4 メッセージが表示されますので確認の上、「はい」をクリックします。

メッセージを確認の上、「はい」をクリックします。

I5 右上の「×」をクリックして画面を閉じます。

右上の「×」をクリックして画面を閉じます。

(以下、余白。次ページへ続く)

● eSIM対応のメーカーブランド製品について

eSIMをご利用いただくには、eSIMに対応したメーカーブランド製品である必要があります。eSIMに対応したメーカーブランド製品の内、当社にて対応eSIMの動作確認を実施しているメーカーブランド製品につきましては、次のURLでご確認下さい。

[<http://www.softbank.jp/biz/mobile/lineup/pc/>]

→ 各社製品一覧ページより該当製品の「製品詳細資料をダウンロード」をクリック

→ スペック欄の「eSIM対応」に「○」と掲載されている場合、当社による動作確認済みのeSIM対応メーカーブランド製品となります。（該当欄がないまたは「×」の場合は、当社による動作確認未実施またはeSIM対象外のメーカーブランド製品となります。）

● eSIMをご利用いただくためのOSアップデートについて

対応eSIMをご利用いただくには、各製品のOSを最新の状態にアップデートいただく必要があります。詳細は次のURLをご参照の上、必要に応じてOSのアップデートを実施して下さい。

[<https://tm.softbank.jp/content/dam/common/services/mobile/pdf/cidna-mobile-lineup-pc-use-of-esim.pdf>]

● eSIM削除後、同一QRコードからの再ダウンロード不可について

対応eSIMを削除されると同じQRコード等から再度ダウンロード・適用はできません。再度eSIMを適用するには、対応eSIMの再発行、またはご解約後の新規契約が必要です。対応eSIMの再発行およびご解約後の新規契約手続きは有償となる場合があります。（ご解約後の新規契約の場合、ご契約期間はリセットされ、対応eSIMの電話番号はご解約前の対応eSIMの電話番号から変更となります。また、ご契約内容によっては別途当社が指定する違約金が発生する場合がありますのでご注意ください。）

また、本体の故障修理を受けられる際や初期化等で対応eSIMが削除される場合がありますので特にご注意下さい。

● eSIM設定時のインターネット接続について

対応eSIMの設定を行うには、無線LANや有線LAN等によるインターネットへの接続が可能な状態である必要があります。

● eSIMの書き込み電話番号について

ソフトバンクショップやオンラインストア、量販店等の一部の当社の取扱店（法人取扱代理店を含みます。）より提供する対応eSIMには、予め電話番号が書き込みされていません。また、eSIMの再発行を行った場合は、当社法人営業部門による直販を含む全ての取扱店から再発行される全ての対応eSIMについて、予め電話番号が書き込みされていません。

通常、当社のスマートフォン等では、eSIM適用後にモバイルネットワーク（携帯電話網）を経由して電話番号が書き込みされます（本機能を以下「OTA機能」といいます。）が、OTA機能に非対応または当社でのOTA機能の動作確認が未実施のメーカーブランド製品では、対応eSIMに電話番号の書き込みがされません。対応eSIMのOTA機能の動作確認状況は次のURLでご確認下さい。

[<http://www.softbank.jp/biz/mobile/lineup/pc/>]

→ 各社製品一覧ページより該当製品の「製品詳細資料をダウンロード」をクリック

→ スペック欄の「電話番号書き込み機能」に「○」と掲載されている場合、OTA機能に対応していることを当社が動作確認したメーカーブランド製品となります。

（該当欄がないまたは「×」の場合は、当社による動作確認未実施またはOTA機能非対応のメーカーブランド製品となります。）

※ 「電話番号書き込み機能」に「○」が掲載されていることは、対応eSIMへの電話番号書き込み動作の確認を実施したということのみを意味しており、物理USIMへの当該機能の動作確認等の動作の確認は含まれていません。

なお、対応eSIMに電話番号が書き込みされていない場合であってもデータ通信（パケット通信）への影響はありません。

ただし、メーカーブランド製品における電話番号の確認、法人向け閉域網サービスの電話番号認証、一部モバイルデバイスマネジメント（MDM）等のソリューションやアプリケーション、その他、対応eSIMに書き込まれた電話番号を使用するサービス等のご利用いただけませんのでご注意ください。

それらサービス等をご利用の場合は、OTA対応のメーカーブランド製品をご利用いただくか、または物理USIMカード（電話番号書き込み済みのもの）のご利用へ変更いただきますようお願い致します。

※ 以下の①～③に該当する場合は特にご注意下さい。

① OTA機能が非対応または当社での動作確認が未実施のメーカーブランド PC・タブレット製品をご利用

② 新規ご契約で予め電話番号書き込み済みの対応eSIMをご利用

③ 対応eSIMに電話番号の書き込みが必要なソリューションまたはサービスをご利用

eSIMの再発行の際は、前述の通り、予め電話番号書き込みがされていない対応eSIMのご提供となります。OTA機能が非対応または当社での動作確認が未実施のメーカーブランド製品をご利用の場合には、電話番号書き込みができないため、eSIMの再発行後は、対応eSIMに電話番号の書き込みが必要なサービス等を継続して利用できなくなります。現在ご契約の回線につきまして、一旦ご解約後、改めて新規にご契約いただくことで予め電話番号書き込み済みの対応eSIMの提供を受けられる場合がありますが、その場合、対応eSIMの電話番号はご解約前の対応eSIMの電話番号から変更となりますので、予めご了承ください。対応eSIMのご解約後の新規契約手続きは有償となる場合があります。（ご解約後の新規契約では、ご契約期間がリセットされます。また、ご契約内容によっては、別途当社が指定する違約金が発生する場合がありますのでご注意ください。）

● エラー等について

対応eSIM設定作業中に下図のエラーが発生した場合は、インターネット接続状況をご確認下さい。インターネット接続に問題がなくこのエラーが表示される場合は、以下の理由が考えられます。

- 一度ダウンロードしたeSIMを再度ダウンロードしようとしている
- ダウンロードまたは適用（インストール）に失敗している

問題が発生しました

サービスに問題が発生したため、プロファイルをダウンロードできませんでした。後で再度実行するか、後援企業がサービスに問題がなくてもいい。

閉じる

問題が発生しました

種類または、このファイル名を指定できませんでした。後で再試行してください。

閉じる

※ ダウンロードまたは適用（インストール）に失敗した場合、再度ダウンロードを実施いただき、その後もエラーが解消されない場合は、Windows® の完全シャットダウンを実施して下さい。起動後も対応eSIMプロファイルが存在せず、その後もエラーが解消されない場合は、当社へ対応eSIMの再発行またはご解約後の新規契約をご依頼下さい。対応eSIMの再発行およびご解約後の新規契約は有償となる場合があります。（ご解約後の新規契約では、ご契約期間がリセットされます。また、ご契約内容によっては、別途当社が指定する違約金が発生する場合がありますのでご注意ください。）

※ 「完全シャットダウン」での電源OFFの方法は、 をご確認ください。

**eSIM設定後の接続先の追加・変更や編集はP3をご確認下さい。
また、eSIM設定後の接続に際しエラー等で接続ができない場合は、P19をご確認下さい。**

J 工場出荷状態から初期設定を行う

J1 本体の電源を投入します。
Windows® の初期設定が開始されますので、画面に従って設定を進めます。

※ ソフトバンク所定のUSIMカード(物理SIM)は挿入せずに初期設定を行って下さい。



自動的に初期設定が開始されます。

初期設定を進めます。

J2 「ネットワークに接続しましょう」画面にて「インターネットに接続していません」をクリックします。



※ OSバージョンにより「インターネットに接続していません」が表示されない場合があります。**その場合は無線LANへ接続して下さい。**
※ 無線LANへ接続する場合は「Wi-Fi」欄に表示されたSSIDを選択の上、接続して下さい。
※ 次画面で、左下に「制限された設定で続行する」と表示された場合は、そちらをクリックして初期設定を続けて下さい。

J3 初期設定を続けます。Windows® 起動後に「完全シャットダウン」で電源をOFFにします。

※ 初期設定の方法は、メーカーブランド製品の取扱説明書等をご確認下さい。

※ 「完全シャットダウン」での電源OFFの方法は、P.19をご確認下さい。

J4 本体にソフトバンク所定のUSIMカード(物理SIM)を挿入して電源を再び投入します。

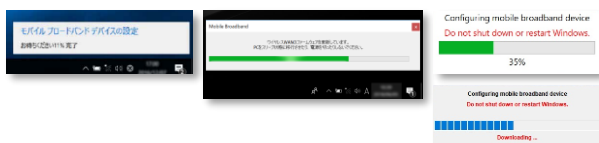
eSIMをご利用の場合は、P.14「Windows® 11 eSIM設定手順」をご覧ください。

※ USIMカードの挿入は電源OFFの状態で行って下さい。USIMカードの挿入方法は、メーカーブランド製品の取扱説明書等をご確認下さい。
※ 所定のUSIMカードはマルチサイズ対応です。メーカーブランド製品によって使用できるUSIMカードのサイズが異なります。メーカーブランド製品の取扱説明書等をご確認の上、USIMカードの台紙より所定のサイズに取り外してご使用下さい。
※ 一度ご使用になったUSIMカードを、別のサイズに取り外しあるいは取り付けし再使用しないで下さい。また、取り外した台紙を変換アダプターとして使用しないで下さい。故障の原因となります。

■ 「Microsoft® Surface」をご利用のお客様

「Microsoft® Surface」では、以下 P.15 の設定は行われません。Windows® 起動後、そのまま右欄 Kへ進んで下さい。

J5 Windows® 起動後に通信モジュールの設定が自動で行われます。



※ 上図いずれかのダイアログボックスが表示されます。(メーカーブランド製品によって表示が異なります。) 設定は自動で完了します。状態によっては、上図のダイアログボックスが表示されない場合があります。

※ 設定が完了するまで**本体の電源をOFFにしないで下さい。**

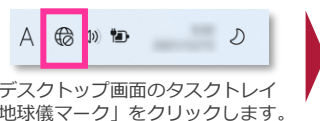
※ 通信モジュールの設定は、初回USIMカード挿入時のみ行われます。なお、設定完了以降、他事業者のSIMカードが挿入されるまで設定が変わることはありません。

続けて、ソフトバンク通信サービスの接続を行います。
右欄 Kへ進んで下さい。

K 起動状態から接続を行う

J Windows® 初期設定の後、以下手順で接続して下さい。

K1 タスクトレイ「地球儀マーク」から上段右側にある「右矢印」をクリックします。



デスクトップ画面のタスクトレイ「地球儀マーク」をクリックします。

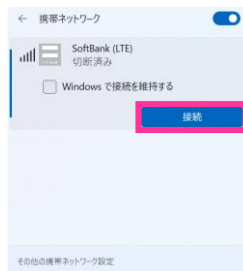
※ Windows® の初期設定が完了した後は、以降電源を投入する前に、ソフトバンク所定のUSIMカード(物理SIM)を挿入(P.14)し、Windows® 起動後に「電波マーク」をクリックします。



上段右の「右矢印」をクリックします。

※ 右上「切断済み」の表示が自動的に「接続済み」となる場合がありますが、これは、Windows® 11の仕様によるものです。この場合、既に接続は完了していますので、K2の操作は不要です。自動接続設定については、P.19をご確認下さい。

K2 「接続」をクリックします。



「接続」をクリックします。

(接続が完了します)

※ 切断する場合は、接続中に表示される「切断」をクリックするまたは「Windowsでこの接続を維持する」のチェックを外します。

※ ソフトバンク通信サービスに自動的に接続する場合は、「Windowsで接続を維持する」にチェックを入れて下さい。以降、無線LAN等の接続がない場合に自動的に接続を行います。

(注意) 自動接続設定については、P.19をご確認下さい。

※ 接続先は当社標準のアクセスポイント(plus.4g)となります。別のアクセスポイントへ接続する場合は「接続」をクリックせず、Lの手順で接続を行って下さい。(「Windowsで接続を維持する」にチェックが入っている場合は外して下さい。)

i-7 Windows® 11 「完全シャットダウン」の方法について

Windows® 11 の「完全シャットダウン」は以下の方法で実施して下さい。

1. デスクトップのWindows® マークをクリックします。
2. 「設定」をクリックし、左欄「Windows Update」をクリックします。
3. 右欄下段の「詳細オプション」をクリックし、下段の「回復」をクリックします。
4. 右欄中段の「PCの起動をカスタマイズする」の「今すぐ再起動」をクリックします。
5. 続けて「今すぐ再起動」をクリックするとブルー画面が表示されます。
6. 「PCの電源を切る」をクリックします。画面がOFFとなり、完全に電源が切れた状態となります。

i-8 自動的にモバイルブロードバンドへ接続する「自動接続」について

「Windowsで接続を維持する」にチェックが入った状態(デフォルト値)であれば、無線LAN等の接続がない場合に自動的に接続を行います。自動接続ではなく、手動で接続を行う場合は、「Windowsで接続を維持する」のチェックをして下さい。(当該チェックを外すと切断されます。)



※ 「Windowsで接続を維持する」にチェックを入れた後、自動接続されるのに時間がかかる場合があります。自動的に接続されるまでお待ち下さい。

Windowsで接続を維持する
別の種類のネットワークに接続していないときは、自動的にデータ通信プランの携帯データネットワークを使用します。



接続先の追加・変更や編集、またエラー等で接続ができない場合は、次ページまたはP.19をご確認下さい。

L 接続先の追加・変更を行う

★ 当社法人向け開域網サービスをご利用の場合、以下手順で接続先を追加・変更の上、接続を行って下さい。

L1 **K1** ~ **K2** の手順を行い、**K2** 下段の「その他の携帯ネットワーク設定」をクリックします。

その他の携帯ネットワーク設定

※ 本設定はソフトバンク通信サービスならびに有線LAN・無線LAN等が切断された状態で行って下さい。

※ Windows® の初期設定が完了した後は、以降電源を投入する前に、ソフトバンク所定のUSIMカードを挿入し、Windows® 起動後に「地球儀マーク」をクリックします。

L2 下段「携帯電話会社の設定」をクリックします。



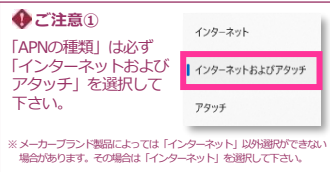
「携帯電話会社の設定」をクリックします。

L3 「APNを追加」をクリックします。表示された入力欄へ接続先情報を入力し「保存」をクリックします。



「APNを追加」をクリックします。

★ 当社法人向け開域網サービスとの接続先情報は、当社の法人担当営業までお問い合わせ下さい。



① ご注意

「APNの種類」(必ず「インターネットおよびアタッチ」を選択して下さい。

※ メーカーブランド製品によっては「インターネット」以外選択ができない場合があります。その場合は「インターネット」を選択して下さい。

※ 「IPの種類」は「既定」として下さい。接続先情報を入力します。「このプロファイルを選択する」にチェックを入れ「保存」をクリックします。

L4 **K2** の画面まで戻り「Windowsでこの接続を維持する」をオン(スイッチを右へ)にして、Windows® を再起動します。



※ 有線LAN・無線LAN等を切断した状態で行って下さい。
※ 当該手順で接続先を変更後、手動接続に切替える場合は「Windowsでこの接続を維持する」のオフ(スイッチを左へ)して、**K** の手順で手動接続を行って下さい。

Windows® 再起動後、変更後の接続先へ自動的に接続されます。

「接続済み」とならない場合やエラー等で接続ができない場合は、**P19**をご確認下さい。

M 接続先の編集を行う

M1 **L1** ~ **L2** の手順を行い、「携帯電話会社の設定」をクリックします。

※ 本設定はソフトバンク通信サービスならびに有線LAN・無線LAN等が切断された状態で行って下さい。

※ 「インターネットAPN」に「既定のAPN」と表示されている場合があります。「既定のAPN」プロファイルに設定された接続先情報の確認は、「既定のAPN」への接続中に行ってください。なお、当該プロファイルの編集および削除はできません。「既定のAPN」の詳細は **I** をご確認ください。

M2 編集する接続先の「編集」をクリックします。表示された各接続先情報を編集し「保存」をクリックします。



「編集」をクリックします。

接続先の削除を行う場合は、「削除」をクリックします。

※ 「IPの種類」は「既定」として下さい。
※ 編集後接続先を適用する場合は「このプロファイルを選択する」にチェックを入れて保存します。その後、**L2** の画面まで戻り、**L4** の手順で接続を行います。

接続先情報を編集して「保存」をクリックします。

N 接続先の適用変更を行う

接続先を複数設定している場合、以下の手順で使用する接続先の適用変更が可能です。

N1 **M1** の手順の後、適用する接続先をクリックして「適用する」をクリックします。



適用する接続先をクリックして「適用する」をクリックします。

※ 「適用する」は未適用の接続先でのみ有効となります。

※ 「インターネットAPN」に「既定のAPN」と表示されている場合があります。詳しくは **I** をご確認ください。

N2 一つ前の画面に戻り「Windowsでこの接続を管理」にチェックを入れ、Windows® を再起動します。



※ 有線LAN・無線LAN等を切断した状態で行って下さい。
※ 当該手順で接続先を変更後、手動接続に切替える場合は「Windowsでこの接続を維持する」のオフ(スイッチを左へ)して、**K** の手順で手動接続を行って下さい。

Windows® 再起動後、変更後の接続先へ自動的に接続されます。

「接続済み」とならない場合やエラー等で接続ができない場合は、**P19**をご確認下さい。

※メーカーブランド製品におけるWindows® 11 (Version 21H2/22H2) 以降のワイヤレスWAN (通信モジュール) 対応状況は、メーカー各社にお問い合わせ下さい。

i-9

Windows® 11 (Version 21H2/22H2) のモバイルブロードバンド機能について

Windows® 11 (Version 21H2/22H2) での機能の制限やご利用上の制限事項は以下の通りです。なお、Windows® 11 (Version 21H2/22H2) へのアップグレード後も必ず最新のWindows Update (OSのバージョンアップを除く) を適用してご利用いただきますようお願い致します。

● **モバイルブロードバンドへの自動接続がデフォルト設定となります。**

詳細は **I4** をご確認ください。

● **インターネットAPNに設定される「既定のAPN」について**

接続先の追加を行わず、当社標準のアクセスポイント (plus.4g) のみをご利用の場合、APN設定のインターネットAPNに「既定のAPN」が設定され、「適用済み」となります。(接続先を追加してご利用の場合は、「未適用」となります。)
「既定のAPN」の編集・削除はできません。

● **接続先変更の際、「Windowsで接続を維持する (Windowsでこの接続を管理)」にチェックを入れず自動接続を行った場合、接続後に切断される場合があります。**

I4 または **N2** にて接続先変更を行う際、「Windowsで接続を維持する」にチェックを入れず自動接続を行った場合、一度接続後に自動的に切断状態となる場合があります。その場合は、「Windowsで接続を維持する」にチェックを入れるか、再度「接続」をクリックして接続を行って下さい。

● **接続先変更の際、「Windowsで接続を維持する (Windowsでこの接続を管理)」にチェックを入れても接続先が変更されない場合があります。**

I4 または **N2** にて接続先変更を行う際、「Windowsで接続を維持する」にチェックを入れても接続先が変更されず、元の接続先に接続される場合があります。その場合は、「Windowsで接続を維持する」にチェックを入れたままWindows® を再起動して下さい。なお、「接続済み」とならない場合やエラー等で接続ができない場合は、P19をご確認ください。

● **「携帯電話」設定画面の「このSIMカードの携帯データ ネットワークを使う」について**

I2 の「携帯電話」設定画面上段に表示される「このSIMカードの携帯データ ネットワークを使う」は、eSIM (Embedded Subscriber Identity Module) 対応機種で表示されます。当該機能はプルダウンにて「SIM1」と「eSIM (またはSIM2)」の選択が可能です。物理SIMでソフトバンク通信サービスをご利用の際は「SIM1」を選択の上ご利用下さい。eSIMをご利用の際は「SIM2 (またはeSIM)」を選択の上ご利用下さい。

※eSIMは対象のメーカーブランド製品でご利用が可能です。設定方法はP14「Windows® 11 eSIM設定手順」をご確認ください。



i-10

Microsoft「Surface Pro 8 LTE Advanced」をご利用の際の注意事項

※「Surface Pro 8 LTE Advanced」の対象OSバージョンは「Windows® 11 (Version 21H2)」です。

● **「Surface Pro 8 LTE Advanced」では、以下の事象が発生する場合があります。**

■ **自動接続設定時 ([Windowsで接続を維持する] がOFFの状態)**

当社USIMカード初回挿入時またはUSIM挿し変えの後電源ON時、30秒程度圏外表示となる場合があります。

■ **自動接続設定時 ([Windowsで接続を維持する] がONの状態)**

当社USIMカード初回挿入時またはUSIM挿し変えの後電源ON時、3Gで接続されますが、しばらくLTEへの接続ができなくなる場合があります。

上記事象が発生した場合、以下の方法で回避が可能です。

・ **最新のWindows Updateを適用する**

本事象を解消するバージョンアップがWindows Updateの配信にて開始されており、当該バージョンアップを実施することで本事象を回避できます。最新のWindows Updateを適用して下さい。
また、以下Microsoft社のサイトより個別に該当のアップデートファイルをダウンロードしてアップデート適用いただくことも可能です。

Surface Pro 8 LTE Advanced

[Download Surface Pro 8 Drivers and Firmware. from Official Microsoft Download Center](#)

※「Select language」は「English」を選択いただき、「Download」ボタンをクリックしてください。OSに合わせてファイルを選択してください。

(以下、余白。次ページへ続く)

P eSIMの設定を行う

- ★ 初期設定から設定を開始する場合は、P1～P3の手順で初期設定を完了して下さい。
- ★ eSIMの設定を行うには、無線LANや有線LAN等によるインターネットへの接続が可能な状態である必要があります。

P1 本体の電源を投入し、無線LANまたは有線LAN等でインターネットに接続された状態にします。

P2 タスクトレイ「扇マーク※1」から上段右側にある「右矢印」をクリックします。



デスクトップ画面のタスクトレイ「扇マーク※1」をクリックします。

※1 有線LAN接続の場合は右図のマークになります。

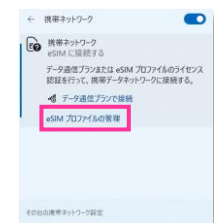


上段右の「右矢印」をクリックします。

※ 既にP4にて「SIM2(またはeSIM)」が選択されている場合は、次の表示になります。その場合は「eSIMプロファイルの管理」をクリックしてP6へ進んで下さい。

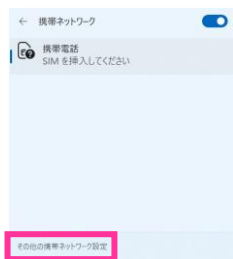


上段右の「右矢印」をクリックします。



「eSIMプロファイルの管理」をクリックしてP6へ進みます。

P3 下段の「その他の携帯ネットワーク設定」をクリックします。



「その他の携帯ネットワーク設定」をクリックします。

P4 「このSIMカードの携帯データネットワークを使う」で「SIM2」(または「eSIM」)を選択します。



「SIM2」(または「eSIM」)を選択します。

※ メーカーブランド製品やOSバージョンによって「SIM2」は「eSIM」と表示される場合があります。また、メーカーブランド製品によっては、別途アプリケーションでのeSIM利用の設定(物理USIMとeSIMの切替)が必要となる場合があります。

P5 「eSIMプロファイル」をクリックします。



「eSIMプロファイル」をクリックします。

P6 「通信事業者のeSIMプロファイルを追加」の「プロファイルの追加」をクリックします。



「プロファイルの追加」をクリックします。

P7 「携帯電話会社から提供されたアクティブ化コードを入力する」を選択し、「次へ」をクリックします。

どのような方法で新しいプロファイルを追加しますか？

使用可能なプロファイルの検索

携帯電話会社から提供されたアクティブ化コードを入力する

次へ

キャンセル

「携帯電話会社から提供されたアクティブ化コードを入力する」を選択し、「次へ」をクリックします。

P8 カメラが起動します。当社よりご提供のQRコードを読み取ります。

※ 対応eSIM用に発行されたQRコードおよびアクティベーションコードをご使用下さい。



カメラが起動します。



カメラ部にQRコードを映します。

サブに接続しています

プロファイルを検索しています

キャンセル

QRコードの読み取りが完了すると自動的に上図の画面になります。

i-11 QRコードが読み取れない場合

QRコードが正しく読み取りできない場合、当社よりご提供の「アクティベーションコード」を「アクティベーションコード」欄へ入力して「次へ」をクリックして下さい。



次へ

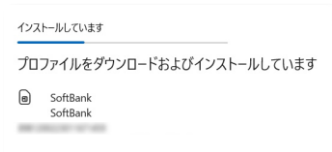
キャンセル

P9 当社よりご提供の確認コードを入力して「はい」をクリックします。



確認コード入力欄へ当社よりご提供の**確認コード**を入力して「はい」をクリックします。

P10 eSIMプロファイルのダウンロードが開始されます。



※ ダウンロード中は本体の電源OFFや再起動は行わないで下さい。また、本体をスリープ状態にしないようにして下さい。

※ ダウンロード中はインターネット接続が切断されないようにして下さい。

P11 eSIMプロファイルのダウンロードが完了すると下図の表示となります。「閉じる」をクリックします。



「閉じる」をクリックします。

P12 「SoftBank」をクリックします。続けて「使用」をクリックします。

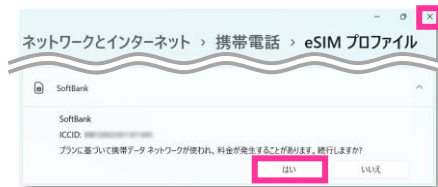


「SoftBank」をクリックします。



「使用」をクリックします。

P13 メッセージが表示されます。確認の上、「はい」をクリックします。右上の「x」をクリックして画面を閉じます。インターネット接続を切断します。



メッセージを確認の上、「はい」をクリックします。右上の「x」をクリックして画面を閉じます。無線LANまたは有線LAN等で接続していたインターネット接続を切断します。

P14 通信モジュールの設定が自動で行われます。



※ 上図いずれかのダイアログボックスが表示されます。(メーカーブランド製品によって表示が異なります)設定は自動で完了します。本体の状態や一部メーカーブランド製品(Surface等)によっては、上図のダイアログボックスが表示されない場合や設定が行われない場合があります。

※ 設定が完了するまで**本体の電源をOFFにしないで下さい。**

※ 通信モジュールの設定は、初回eSIM適用時のみ行われます。なお、設定完了以降、eSIMの削除や他事業者のeSIMが適用されるまで設定が変わることはありません。

P15 タスクトレイ「地球儀マーク」から上段右側にある「右矢印」をクリックし、アンテナ番号が表示されることを確認します。この状態で1分待ち、Windows®を再起動します。



P16 P1～P4の手順を行い、「携帯電話会社の設定」をクリックします。下段の「プロパティ」の「携帯電話番号」に電話番号が表示されているか確認します。



「携帯電話会社の設定」をクリックします。



「携帯電話番号」に電話番号が表示されているか確認します。

(次ページへ続く)

(前ページからの続き)

※ 「携帯電話番号」に電話番号が表示されない場合は、電話番号書き込み機能に対応したメーカーブランド製品であるかご確認ください。なお、eSIMに電話番号が書き込まれていない場合であってもデータ通信(ウェブ通信)への影響はありません。ただし、当社法人向け閉域網サービスの電話番号認証、一部モバイルデバイス管理(MDM)等のソリューションやサービスにてeSIMに書き込まれた電話番号を使用するサービスはご利用いただけませんのでご注意ください。詳細は [P.16](#) をご確認ください。

※ 電話番号書き込み機能に対応していることを当社が動作確認したメーカーブランド製品であるにも関わらず、本書の手順 [P.16](#) で電話番号が表示されない場合は、以下 ①～④ を順番にお試し下さい。

① そのまま **1分** 待ち、Windows® の完全シャットダウンを行います。再度メーカーブランド製品本体の電源を投入後、手順 [P.15](#) の操作を行い、アンテナバーが表示されることを確認して、再度、そのまま **3分程度** お待ち下さい。その後、Windows® の完全シャットダウンを行い、本体の電源を投入後に電話番号が表示されるか確認します。(電話番号表示がされるまで数回繰り返し実施して下さい。)

※ 「完全シャットダウン」での電源OFFの方法は、[P.15](#) をご確認ください。

② メーカーブランド製品本体のスリープ設定および休止設定をOFF(なし)にし、電源を立ち上げたまま当社ネットワークに接続した状態で1日程度お待ちいただき再起動を行って下さい。

③ 当社までOTA再送のご依頼をお願いします。処理完了後に手順 [P.15](#) より再開します。

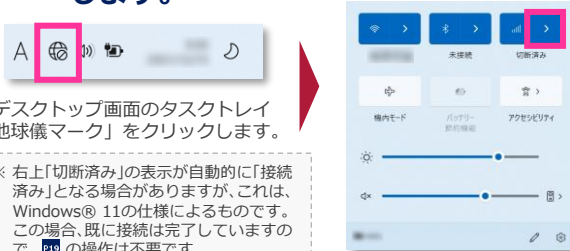
P17 右上の「x」をクリックして画面を閉じます。



右上の「x」をクリックして画面を閉じます。

以上でeSIMの設定は終了です。
続けて、ソフトバンク通信サービスの接続を行います。

P18 タスクトレイ「地球儀マーク」から上段右側にある「右矢印」をクリックします。

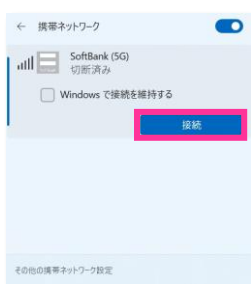


デスクトップ画面のタスクトレイ「地球儀マーク」をクリックします。

※ 右上「切断済み」の表示が自動的に「接続済み」となる場合がありますが、これは、Windows® 11の仕様によるものです。この場合、既に接続は完了していますので、[P.19](#) の操作は不要です。自動接続設定については、[P.19](#) をご確認ください。

上段右の「右矢印」をクリックします。

P19 「接続」をクリックします。



「接続」をクリックします。

(接続が完了します)

※ 切断する場合は、接続中に表示される「切断」をクリックするかまたは「Windowsでこの接続を維持する」のチェックを外します。

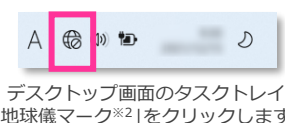
※ ソフトバンク通信サービスに自動的に接続する場合は、「Windowsで接続を維持する」にチェックを入れて下さい。以降、無線LAN等の接続がない場合に自動的に接続を行います。

(注意) 自動接続設定については、[P.19](#) をご確認ください。

※ 接続先は当社標準のアクセスポイント(plus.4g)となります。別のアクセスポイントへ接続する場合は「接続」をクリックせず、**L**の手順で接続を行って下さい。「(Windowsで接続を維持する)」にチェックが入っている場合は外して下さい。

Q eSIMの使用を停止する

Q1 タスクトレイ「地球儀マーク※2」から上段右側にある「右矢印」をクリックします。



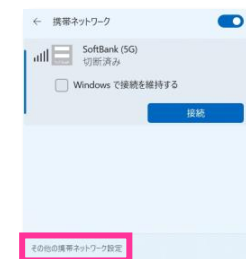
デスクトップ画面のタスクトレイ「地球儀マーク※2」をクリックします。

※2 無線LANまたは有線LAN接続時はそれぞれ右図のマークになります。



上段右の「右矢印」をクリックします。

Q2 下段の「その他の携帯ネットワーク設定」をクリックします。



「その他の携帯ネットワーク設定」をクリックします。

Q3 「eSIMプロフィール」をクリックします。



「eSIMプロフィール」をクリックします。

Q4 「SoftBank」をクリックします。続けて「使用の中止」をクリックします。



「SoftBank」をクリックします。



「使用の中止」をクリックするとメッセージが表示されます。確認の上、「はい」をクリックします。

※ 使用を再開する場合は「SoftBank」をクリックして「使用」をクリックします。
※ 他のeSIMを使用する場合は、該当のプロファイルを選択して「使用」をクリックします。

R eSIMを削除する

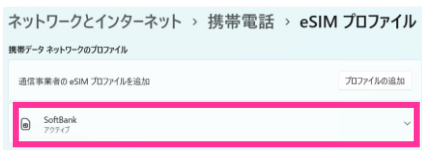
※ eSIMを削除されると同じQRコード等から再度ダウンロード・適用はできません。再度eSIMを適用するには、eSIMの再発行またはご解約後の新規契約が必要です。eSIMの再発行およびご解約後の新規契約手続きは有償となる場合があります。

R1 無線LANまたは有線LAN等でインターネットに接続された状態にします。

※ eSIM削除の実施前に、無線LAN等でインターネット接続を行って下さい。(ソフトバンク通信サービスへの接続は切断して下さい。)

R2 Q1～Q3の手順を行い、「eSIMプロファイル」をクリックします。

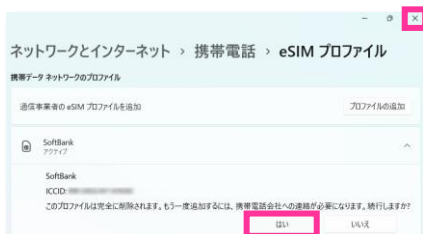
※ 本設定は個別のeSIMプロファイルの削除方法について説明しています。すべてのeSIMプロファイルを削除(リセット)を行う方法は S をご確認ください。

R3 「SoftBank」をクリックします。続けて「削除」をクリックします。

「SoftBank」をクリックします。



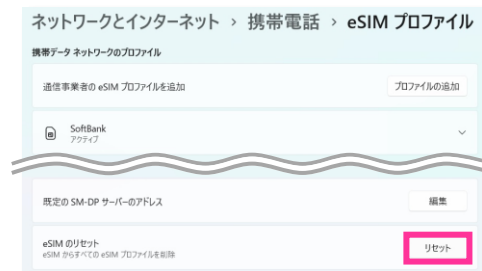
「削除」をクリックします。

R4 メッセージが表示されます。確認の上、「はい」をクリックします。右上の「×」をクリックして画面を閉じます。

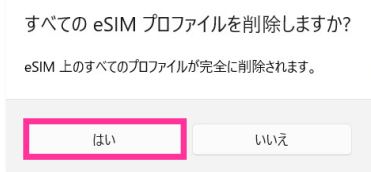
メッセージを確認の上、「はい」をクリックします。右上の「×」をクリックして画面を閉じます。

S2 Q1～Q3の手順を行い、「eSIMプロファイル」をクリックします。

※ 本設定はすべてのeSIMプロファイルの削除(リセット)方法について説明しています。個別のeSIMプロファイルを削除する方法は R をご確認ください。

S3 下部の「eSIMのリセット」の「リセット」をクリックします。

「eSIMのリセット」をクリックします。

S4 メッセージが表示されますので確認の上、「はい」をクリックします。

メッセージを確認の上、「はい」をクリックします。

S5 右上の「×」をクリックして画面を閉じます。

右上の「×」をクリックして画面を閉じます。

(以下、余白。次ページへ続く)

S eSIMをリセット(削除)する

※ eSIMを削除されると同じQRコード等から再度ダウンロード・適用はできません。再度eSIMを適用するには、eSIMの再発行またはご解約後の新規契約が必要です。eSIMの再発行およびご解約後の新規契約手続きは有償となる場合があります。

S1 無線LANまたは有線LAN等でインターネットに接続された状態にします。

※ eSIMリセットの実施前に、無線LAN等でインターネット接続を行って下さい。(ソフトバンク通信サービスへの接続は切断して下さい。)

● eSIM対応のメーカーブランド製品について

eSIMをご利用いただくには、eSIMに対応したメーカーブランド製品である必要があります。eSIMに対応したメーカーブランド製品の内、当社にて対応eSIMの動作確認を実施しているメーカーブランド製品につきましては、次のURLでご確認下さい。

[<http://www.softbank.jp/biz/mobile/lineup/pc/>]

→ 各社製品一覧ページより該当製品の「製品詳細資料をダウンロード」をクリック

→ スペック欄の「eSIM対応」に「○」と掲載されている場合、当社による動作確認済みのeSIM対応メーカーブランド製品となります。（該当欄がないまたは「×」の場合は、当社による動作確認未実施またはeSIM対象外のメーカーブランド製品となります。）

● eSIMをご利用いただくためのOSアップデートについて

対応eSIMをご利用いただくには、各製品のOSを最新の状態にアップデートいただく必要があります。詳細は次のURLをご参照の上、必要に応じてOSのアップデートを実施して下さい。

[<https://tm.softbank.jp/content/dam/common/services/mobile/pdf/cidna-mobile-lineup-pc-use-of-esim.pdf>]

● eSIM削除後、同一QRコードからの再ダウンロード不可について

対応eSIMを削除されると同じQRコード等から再度ダウンロード・適用はできません。再度eSIMを適用するには、対応eSIMの再発行、またはご解約後の新規契約が必要です。対応eSIMの再発行およびご解約後の新規契約手続きは有償となる場合があります。（ご解約後の新規契約の場合、ご契約期間はリセットされ、対応eSIMの電話番号はご解約前の対応eSIMの電話番号から変更となります。また、ご契約内容によっては別途当社が指定する違約金が発生する場合がありますのでご注意ください。）

また、本体の故障修理を受けられる際や初期化等で対応eSIMが削除される場合がありますので特にご注意下さい。

● eSIM設定時のインターネット接続について

対応eSIMの設定を行うには、無線LANや有線LAN等によるインターネットへの接続が可能な状態である必要があります。

● eSIMの書き込み電話番号について

ソフトバンクショップやオンラインストア、量販店等の一部の当社の取扱店（法人取扱代理店を含みます。）より提供する対応eSIMには、予め電話番号が書き込みされていません。また、eSIMの再発行を行った場合は、当社法人営業部門による直販を含む全ての取扱店から再発行される全ての対応eSIMについて、予め電話番号が書き込みされていません。

通常、当社のスマートフォン等では、eSIM適用後にモバイルネットワーク（携帯電話網）を経由して電話番号が書き込みされます（本機能を以下「OTA機能」といいます。）が、OTA機能に非対応または当社でのOTA機能の動作確認が未実施のメーカーブランド製品では、対応eSIMに電話番号の書き込みがされません。対応eSIMのOTA機能の動作確認状況は次のURLでご確認下さい。

[<http://www.softbank.jp/biz/mobile/lineup/pc/>]

→ 各社製品一覧ページより該当製品の「製品詳細資料をダウンロード」をクリック

→ スペック欄の「電話番号書き込み機能」に「○」と掲載されている場合、OTA機能に対応していることを当社が動作確認したメーカーブランド製品となります。

（該当欄がないまたは「×」の場合は、当社による動作確認未実施またはOTA機能非対応のメーカーブランド製品となります。）

※ 「電話番号書き込み機能」に「○」が掲載されていることは、対応eSIMへの電話番号書き込み動作の確認を実施したということのみを意味しており、物理USIMへの当該機能の動作確認等の動作の確認は含まれていません。

なお、対応eSIMに電話番号が書き込みされていない場合であってもデータ通信（パケット通信）への影響はありません。

ただし、メーカーブランド製品における電話番号の確認、法人向け閉域網サービスの電話番号認証、一部モバイルデバイスマネジメント（MDM）等のソリューションやアプリケーション、その他、対応eSIMに書き込まれた電話番号を使用するサービス等のご利用いただけませんのでご注意ください。

それらサービス等をご利用の場合は、OTA対応のメーカーブランド製品をご利用いただくか、または物理USIMカード（電話番号書き込み済みのもの）のご利用へ変更いただきますようお願い致します。

※ 以下の①～③に該当する場合は特にご注意下さい。

① OTA機能が非対応または当社での動作確認が未実施のメーカーブランド PC・タブレット製品をご利用

② 新規ご契約で予め電話番号書き込み済みの対応eSIMをご利用

③ 対応eSIMに電話番号の書き込みが必要なソリューションまたはサービスをご利用

eSIMの再発行の際は、前述の通り、予め電話番号書き込みがされていない対応eSIMのご提供となります。OTA機能が非対応または当社での動作確認が未実施のメーカーブランド製品をご利用の場合には、電話番号書き込みができないため、eSIMの再発行後は、対応eSIMに電話番号の書き込みが必要なサービス等を継続して利用できなくなります。現在ご契約の回線につきましては、一旦ご解約後、改めて新規にご契約いただくことで予め電話番号書き込み済みの対応eSIMの提供を受けられる場合がありますが、その場合、対応eSIMの電話番号はご解約前の対応eSIMの電話番号から変更となりますので、予めご了承ください。対応eSIMのご解約後の新規契約手続きは有償となる場合があります。（ご解約後の新規契約では、ご契約期間がリセットされます。また、ご契約内容によっては、別途当社が指定する違約金が発生する場合がありますのでご注意ください。）

● エラー等について

対応eSIM設定作業中に下図のエラーが発生した場合は、インターネット接続状況をご確認下さい。インターネット接続に問題がなくこのエラーが表示される場合は、以下の理由が考えられます。

- 一度ダウンロードしたeSIMを再度ダウンロードしようとしている
- ダウンロードまたは適用（インストール）に失敗している



※ ダウンロードまたは適用（インストール）に失敗した場合、再度ダウンロードを実施いただき、その後もエラーが解消されない場合は、Windows® の完全シャットダウンを実施して下さい。起動後も対応eSIMプロファイルが存在せず、その後もエラーが解消されない場合は、当社へ対応eSIMの再発行またはご解約後の新規契約をご依頼下さい。対応eSIMの再発行およびご解約後の新規契約は有償となる場合があります。（ご解約後の新規契約では、ご契約期間がリセットされます。また、ご契約内容によっては、別途当社が指定する違約金が発生する場合がありますのでご注意ください。）

※ 「完全シャットダウン」での電源OFFの方法は、 をご確認ください。

**eSIM設定後の接続先の追加・変更や編集はP12をご確認下さい。
また、eSIM設定後の接続に際しエラー等で接続ができない場合は、P19をご確認下さい。**

i-13

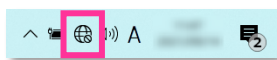
これまでの手順で接続が下図のエラーとなった場合は、以下をご確認下さい。



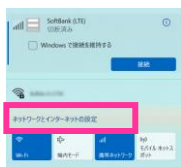
(接続先の適用が「アクティブ化済み」とならないケース)

1. 「閉じる」※1 をクリック後、接続先の設定内容をご確認の上、再度「Windowsで接続を維持する (Windowsでこの接続を管理)」にチェック※2 を入れて下さい(または「接続」をクリックして下さい。)

Windows® に設定された接続先情報が正しいかご確認下さい。確認方法は次の通りです。(以下はWindows® 10 を例にしています。Windows® 11の場合は、M を参考に確認して下さい。)



デスクトップ画面のタスクトレイ「地球儀マーク」をクリックします。



「ネットワークとインターネットの設定」をクリックします。※4



「携帯電話」→「携帯電話会社の設定」または「詳細オプション」をクリックします。

Windows® 10 Anniversary Update / Windows® 10 Version 1511 では「SoftBank」をクリック後に「詳細オプション」をクリックします。



接続する接続先の「編集」をクリックします。接続先情報の入力欄が表示されます。接続先情報に間違いがないか確認します。※3 当社標準のアクセスポイント(plus.4g)に接続する場合は、右記の接続先情報が設定されているか確認します。

修正が必要な場合は修正後「このプロファイルを適用する」にチェックを入れ「保存」をクリックします。

- ※1 既定のAPNが適用されている場合、未接続中は接続先の確認ができません。上段のプルダウンが「自動」になっているか確認の上、再度「Windowsで接続を維持する(Windowsでこの接続を管理)」にチェック ※2 を入れて下さい。なお、接続中であっても「既定のAPN」の編集はできません。
- ※2 「APNの種類」について、必ず「インターネットおよびアタッチ」を選択する必要があります。なお、メーカーブランド製品によっては「インターネット」以外選択ができない場合があります。その場合は「インターネット」を選択して下さい。

接続先が設定されていない場合は...

C、L の手順を参考に、当社標準のアクセスポイントまたは当社法人向け閉域網サービスの接続先を追加設定して下さい。

■ 当社標準のアクセスポイント 接続先情報

当社標準アクセスポイントの接続先情報は下表の通りです。 ※SoftBankブランド向けです。

【接続先情報】(アクセスインターネットプラス(4G向け))

項目	設定情報
アクセスポイント名 (APN)	plus.4g
ユーザー名	plus
パスワード	4g
サインイン情報の種類	CHAP

※ 上表の接続先情報は、メーカーブランド製品に対応する料金プランを登録したソフトバンク所定のUSIMカード向けです。 ※ 当社法人向け閉域網サービスの接続先情報は、当社の法人担当営業までお問い合わせ下さい。

- ※1 接続先の適用が「アクティブ化済み」とならない場合は、接続先をクリック後「編集」をクリックします。
- ※2 有線LAN・無線LAN等を切断した状態で行って下さい。一部の製品およびWindows® 11では既定のAPNのアクセスポイントの選択はできません。
- ※3 接続先情報に間違いがあり認証に失敗すると、その後通信モジュールに設定されている接続先のユーザー名・パスワードが接続先情報に反映される場合があります。その場合は、正しいユーザー名・パスワードを入力し直して下さい。
- ※4 Windows® 10 Anniversary Update では「ネットワーク設定」、Windows® 10 Version 1511 では「SoftBank」をクリックします。

2. 「1」で同様のエラーが発生する場合は、「閉じる」をクリック後、再度「Windowsで接続を維持する (Windowsでこの接続を管理)」にチェック※2 を入れて下さい(または「接続」をクリックして下さい。)

3. 「2」でも同様のエラーが発生する場合は、Windows® をシャットダウンし、電源投入後に再度接続を行って下さい。

※ 新規接続時または設定後USIMカードの差替えの都度「2」にてエラーが発生する場合があります。その場合もWindows® をシャットダウンし、電源投入後に再度接続を行って下さい。

i-14

「3」を実施してもエラーにより接続ができない場合は、以下の手順をお試し下さい。

※ Windows® 10 でのそれぞれの手順は以下の通りです。Windows® 11の場合は次ページをご参照ください。

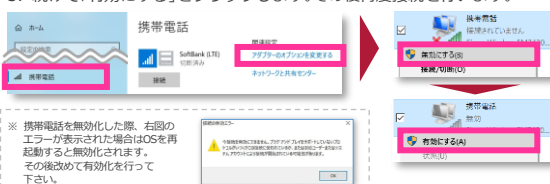
Windows® 10 の「完全シャットダウン」を実施する。

1. デスクトップのWindows® マークをクリックします。
2. 「設定 (歯車) または (地球儀)」をクリックします。
3. 「更新とセキュリティ」をクリックし、左欄の「回復」をクリックします。
4. 右欄中段の「今すぐ再起動」をクリックします。
5. ブルー画面が表示されます。「PCの電源を切る」をクリックします。
6. 画面がOFFとなり、完全に電源が切れた状態となります。
7. 電源を投入し、再度接続を行います。



アダプター「携帯電話」の無効化・有効化を実施する。

1. タスクトレイ「地球儀マーク(または「電波マーク」)」から「ネットワークとインターネットの設定」をクリックし、「携帯電話」の右欄*「アダプターのオプションを変更する」をクリックします。* 下部に表示されることがあります。
2. 「携帯電話」を選択し、右クリックから「無効にする」をクリックします。
3. 続けて「有効にする」をクリックします。その後再度接続を行います。



※ 携帯電話を無効化した際、右図のエラーが表示された場合はOSを再起動すると無効化されます。その後改めて有効化を行って下さい。

(前ページからの続き) Windows® 11でのそれぞれの手順

Windows® 11の「完全シャットダウン」を実施する。

1. デスクトップのWindows® マークをクリックします。
2. 設定 (⚙️) をクリックし、左欄「Windows Update」をクリックします。
3. 右欄下段の「詳細オプション」をクリックし、下段の「回復」をクリックします。
4. 右欄中段の「PCの起動をカスタマイズする」の「今すぐ再起動」をクリックします。
5. 続けて「今すぐ再起動」をクリックするとブルー画面が表示されます。
6. PCの電源を切るをクリックします。画面がOFFとなり、完全に電源が切れた状態となります。電源を投入し、再度接続を行います。



アダプター「携帯電話」の無効化・有効化を実施する。

1. デスクトップのWindows® マークから「設定 (⚙️)」をクリックします。
2. 左欄「ネットワークとインターネット」をクリックします。
3. 右欄「ネットワークの詳細設定」をクリックします。
4. 上段「携帯電話」の「無効にする」をクリックします。
5. 続けて「Enable」(有効にする)をクリックします。その後再度接続を行います。



- ※ 上記「4」で携帯電話が表示されていない場合は以下の手順で実施して下さい。
1. デスクトップのWindows® マークから「設定」をクリックします。
 2. 左欄「ネットワークとインターネット」をクリックし、下段「ネットワークの詳細設定」をクリックします。
 3. 下段「ネットワークアダプターオプションの詳細」をクリックし、「携帯電話」を選択して右クリックから「無効にする」をクリックします。続けて「有効にする」をクリックします。その後再度接続を行います。

i-15

「SoftBank」表示が「圏外」となる場合、「携帯電話」の表示が突然消える等の事象が発生した場合は、次の手順をお試し下さい。

Windows® 10 Creators Update (Version 1703)以降のOSで、OSバージョンアップやソフトウェア・ファームウェアのバージョンアップ等を実施した際、またはその他の理由で、当社ネットワークの圏内であるにも関わらず、タスクトレイ「電波マーク」に表示される「SoftBank」が「圏外」表示となる、あるいはモバイルブロードバンドへの接続ができなくなる、「SoftBank」が表示されず使用可能なネットワークから「携帯電話」の表示が突然消え、接続ができなくなる等の症状が発生する場合があります。その場合、以下の手順により復帰できる場合があります。

● 接続先を追加せずにご利用の場合 (ご利用接続先: plus.4g)

- 1: モバイルブロードバンドへ接続中の場合は切断します。Windows® を再起動します。
- 2: 再起動後「Windowsで接続を維持する(「Windowsでこの接続を管理」)」にチェックが入っている場合、チェックを外します。
(「Windowsで接続を維持する(「Windowsでこの接続を管理」)」にチェックが入っていると自動接続されますので、再起動後すぐにチェックを外して下さい。)
- 3: 再びWindows® を再起動します。
- 4: 再起動後、タスクトレイ「地球儀マーク(または「電波マーク」)」から「ネットワークとインターネットの設定」をクリックします。
- 5: 「携帯電話」から「携帯電話会社の設定(または「詳細オプション」)」をクリックします。
(Windows® 11の場合は、「地球儀マーク」→「上段右の右矢印」→「その他の携帯ネットワーク設定」→「携帯電話会社の設定」)
- 6: 「インターネットAPN」に「既定のAPN」のみ表示されていることを確認します。
(「既定のAPN」以外の接続先情報(APN情報)プロファイルが表示されている場合は、下段「接続先を追加のご利用の場合」の手順を行って下さい。)
- 7: 「APNを追加します」をクリックします。
- 8: 表示された入力欄へ以下の接続先情報を入力し「保存」をクリックします。

【接続先情報】(アクセスインターネットプラス(4G向け))			
項目	設定情報	項目	設定情報
プロファイル名	任意	サインイン情報の種類	CHAP
APN	plus.4g	IPの種類	既定
ユーザー名	plus	APNの種類	インターネットおよびアタッチ (または「インターネットとLTE」)
パスワード	4g	このプロファイルを適用する	チェックを入れる

※「APNの種類」は必ず「インターネット および アタッチ(または「インターネットとLTE」)」を選択して下さい。

- 9: デスクトップ画面に戻り、タスクトレイ「地球儀マーク(または「電波マーク」)」をクリックします。
- 10: 携帯電話(電波マーク)の表示が戻り、「SoftBank」と表示され「圏内」に復帰します。

● 接続先を追加してご利用の場合 (ご利用接続先: 任意の接続先またはplus.4g)

- 1: モバイルブロードバンドへ接続中の場合は切断します。Windows® を再起動します。
- 2: 再起動後「Windowsで接続を維持する(「Windowsでこの接続を管理」)」にチェックが入っている場合、チェックを外します。
(「Windowsで接続を維持する(「Windowsでこの接続を管理」)」にチェックが入っていると自動接続されますので、再起動後すぐにチェックを外して下さい。)
- 3: 再びWindows® を再起動します。
- 4: 再起動後、タスクトレイ「地球儀マーク(または「電波マーク」)」から「ネットワークとインターネットの設定」をクリックします。
- 5: 「携帯電話」から「携帯電話会社の設定(または「詳細オプション」)」をクリックします。
(Windows® 11の場合は、「地球儀マーク」→「上段右上の右矢印」→「その他の携帯ネットワーク設定」→「携帯電話会社の設定」)
- 6: 「インターネットAPN」に追加設定されている接続先情報(APN情報)プロファイルを選択して「削除」します。
- 7: 「既定のAPN」のみ表示されていることを確認します。
- 8: 「APNを追加します」をクリックします。
- 9: 表示された入力欄へ任意の接続先情報(APN情報)(plus.4gへ接続する場合は、上表の接続先情報続先情報)を入力し「保存」をクリックします。

※「APNの種類」は必ず「インターネット および アタッチ(または「インターネットとLTE」)」を選択して下さい。

- 10: デスクトップ画面に戻り、タスクトレイ「地球儀マーク(または「電波マーク」)」をクリックします。
- 11: 携帯電話(電波マーク)の表示が戻り、「SoftBank」と表示され「圏内」に復帰します。

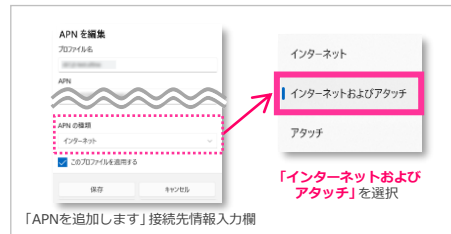
※ 上記手順はWindows® 10 Creators Update (Version 1703)以降のOSが対象です。

※ メーカーブランド製品によっては、「APNの種類」で「インターネットおよびアタッチ(または「インターネットとLTE」)」を選択することができない製品があります。当該製品で本件の事象が発生する場合は、前ページ をご確認ください。

i-16 「APNを追加します」の接続先情報入力欄「APNの種類」について

接続先の追加・変更・適用変更を実施する際、「APNを追加します」の接続先情報入力欄の「APNの種類」について、「インターネットおよびアタッチ」以外を選択すると、プロファイル適用後の接続で圏外表示となり、接続ができなくなる場合があります。設定時は必ず「インターネットおよびアタッチ」を選択して下さい。

※ メーカーブランド製品によっては「インターネット」以外選択ができない場合があります。その場合は「インターネット」を選択して下さい。



「APNを追加します」接続先情報入力欄

i-17 「VAIO社製品」をご利用の際の注意事項

「VAIO社製PC製品」をご利用の場合で、接続先の追加・変更・適用変更を実施する際、入力した接続先情報（APN情報）に間違いがあると、プロファイル適用後の接続で圏外表示となり、圏内に復帰しないままその後の接続ができなくなる場合があります。この場合、専用ツール（APN Configuration Tool および Firmware Selector Tool）にて通信モジュールのリセットを実施することで、圏内に復帰し接続が可能となります。以下の手順で通信モジュールのリセットを実施し、圏内に復帰後再度接続を行って下さい。

[対象製品] VAIO社製 Windows® 10 October 2018 Update (Version 1809) 以前

● 「VAIO社製PC製品」通信モジュールのリセット方法

※ 手順の詳細は次のURLをご確認ください。(http://cdn.softbank.jp/biz/set/data/mobile/lineup/pc/pdf/recovery_flow.pdf) [ご説明該当ページ] 手順3

- 1: 次のURLより専用ツールをダウンロードします。ダウンロードファイルはZIP形式です。ダウンロードしたZIPファイルを任意のディレクトリで解凍して下さい。（解凍されたフォルダの構成は変更しないで下さい。）

<https://u.softbank.jp/2OJBi5H>

ファイル名: LN940_APN_Configuration_Tool.zip

- 2: 入力に間違いのある接続先情報（APN情報）プロファイルを削除します。
- 3: 1で解凍したフォルダ内の「APNConfigure.exe」を実行します。
- 4: ツールの右下「初期設定に戻す」を押下します。（APN/ユーザー名/パスワードには何も入力しないで下さい。）
- 5: 「設定の初期化が成功しました！」と表示されれば終了です。右上の「×」を押下します。
- 6: タスクバー左下の「Cortana」入力画面に以下のディレクトリを入力し「Firmware Selector Tool.exe」を起動します。
C:\Program Files (x86)\Telit LN940 Mobile Broadband\Utilities\Firmware Selector Tool\Firmware Selector Tool.exe
- 7: 「Factory Default *****,*.*.*.*.*.*.*.*」にチェックを入れ、「Change Firmware」をクリックします。
(※ [*] にはファームウェアのバージョンが表示されます。)
- 8: 「Firmware upgrade success.」と表示されれば終了です。「OK」をクリックし、右上の「×」を押下します。
- 9: デスクトップに自動的にインジケータが表示され、当社ネットワーク対応のファームウェアが適用されます。
- 10: OS再起動後、携帯電話（電波マーク）が圏内に復帰します。その後、「ネットワークとインターネットの設定」→「携帯電話」→「詳細オプション」→「APNを追加します」にて改めて接続先（プロファイル）を作成し適用します。
(※ 接続先情報（APN情報）に間違いがないよう入力します。)

「Windowsで接続を維持する（Windowsでこの接続を管理）」にチェックを入れOSを再起動します。OS再起動後、接続が完了します。

※ 専用ツールは、通信モジュールの製造元「Telit社」より提供されるものです。当社では、特定のメーカーブランド製品における当該ツールの動作確認は実施していますが、その動作を保証・サポートするものではありません。

(以下、余白。次ページへ続く)

